



couturubbish

ごみをゴミとしない服作り

高嶋英里

もくじ

はじめに

研究のきっかけ
目的
タイトル
サブタイトル

9 8 7 6

調査

ファッション業界のゴミ問題
先行研究

12 11

愛着

私の愛着が湧いた服
自分の愛着を考えてみて

19 18

制作

愛着を見出すために作った服
研究の変化
出たごみでの服作り
ハサミを禁止した服作り

27 24 22 21



さいごに

couturubbish

共同企画

07

06

05

結果・考察
参考文献

ごみをゴミとしない服作り

芋掘りの準備
もんぺ作り
芋掘り大会

40 39

33

31 30 29

は
じ
め
に

01



服が好き。

ファッション業界の「ごみ問題」と出会う。
捨てられてしまう生地があることを知り、
服作りをしたと思った。

昨年着なくなった高校の制服のブラウスをリメイクをした。

その時に「服作りって楽しい」と思った。

その時から卒業研究で服に関することをしたいと思った。

この研究にたどり着く前、卒業研究の内容を迷っていた私は、

とりあえず母の友人の企業から “C反 (B反)” をもらった。

その生地から何かできないかと考え、たどり着いたのが

捨てられてしまう生地で作るということだった。

※C反 (B反)

機械のエラーや染色などで生地に
欠陥があり捨てられてしまう生地
のこと

目的

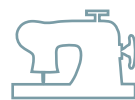
供給量の約半分が捨てられてしまうこの世の中。

多くの生地や服が捨てられているこの世の中を少しでも変えたいと思い、

捨てられてしまう生地やごみになるものを使って服作りをしたいと思った。

自分が服を作る上で、ごみになってしまうものだけど、見方次第でごみという存在を

必要なものに変えられるということを探っていく。



仕立て、縫製

(フランス語)

couture

rubbish



ごみ



(イギリス英語)



couturubbish

クチュールビッシュ

「ごみを仕立てる」

サブタイトル

“ひらがな表記”のごみ
本来は捨てられてしまうものだが、
違う何かに生まれ変わらせられる可能性があるごみ

ごみをゴミとしない服作り

“カタカナ表記”のゴミ
捨ててしまう、いらなくなったもの



ごみの表記を変えることで、違う意味を持たせたかった

02 調査



ファッション業界のゴミ問題



段ボールはたからもの



カエルデザイン with リハス



MALION VINTAGE

ファッション業界のゴミ問題



着なくなった服の山
<https://newsphere.jp/series/over-your-value/20190125-3/>



12世紀から毛織物の産地として知られるイタリアのブライトでは、約300社で4万人の作業員が古着の処理にあたっている
<https://range.nikkeibp.co.jp/data/gallery/02210029/7p-2>

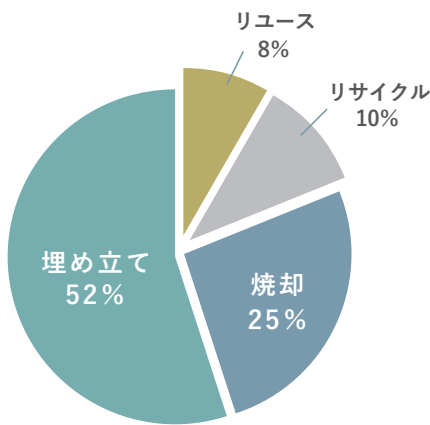
ファッション業界のゴミ問題は、年間60%の服が捨てられているということ、毎秒トラック一台分の衣服が焼却、埋め立てされていることである。

2000年から2015年にかけての洋服の生産量は約2倍に増え、2015年の時点で、生産された洋服の年間消費量40%の6200万トンに対し、廃棄量は約1.5倍の9200万トンにもなる。廃棄量を枚数に換算すると約3000億着もの量になる。そして廃棄量の52%は埋め立て、25%は焼却されていて、わずか18%がリサイクルやリユースされている。この数字は2030年には消費量が1.02億トンに増加、同時に廃棄量も1.5億トンに達する想定になる。

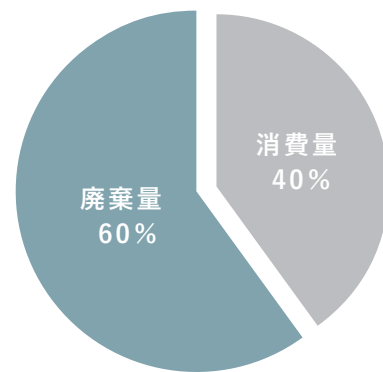
「GLOBAL FASHION AGENDA」の年間レポートより
<https://note.com/fashionfuture/n/664821179a9a9>

上記のことを調べる前、「服は消耗品だ」と勝手に自分の中で位置付け、環境的にはあまり影響してはいないのではないかと考えていた。しかし捨てられている生地が大量にあるのならば、それ以上に服も大量に捨てられているのではないかと考え、ゴミ問題について調べた。

年間で大量に服が捨てられ、正直こんなにも大きな問題になっているということを知らなかった。衝撃を受けた。ファッション業界では大きすぎる問題でそれに取り組んでいるサステイナブルなファッションブランドも多くあり、それぞれのブランドにより取り組み方が違って面白い。私もそのような活動をしたいと思ったし、どのようにしたらゴミを無くせるかということも研究する。



廃棄量 100%



供給量 100%

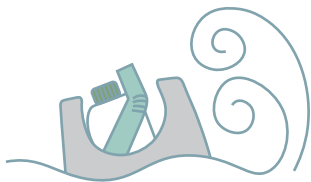


数あるアップサイクルのなかでこの三つを選んだワケ



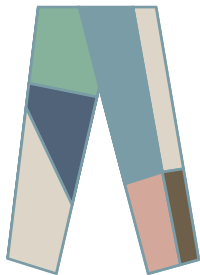
段ボールはたからもの

服と同じくらい身近にあり、大切に気づけない段ボールで財布を作るアップサイクルをしていたから



カエルデザイン with リハス

障害の持つ人 × 海洋プラスチック=生きがい × 環境問題
作り手と環境問題どちらもが利益になるブランドだから



MALION VINTAGE

古着のリメイクを一つ一つ手作業で行っているブランドで、愛着が見出せるヒントがあったから

先行研究●段ボールはたからもの

不要なものから大切なものへ。世界の街角で捨てられた段ボールを拾い集め、かわいくてかっこいい財布をつくる。地球が悲鳴を上げている今、わたしにもできるアップサイクルのヒントがここに。

その「あしあと」から国特有の経済、文化、人が見えてくる。スラスラ読める。だけれど深く、面白い。9年間の世界を巡る段ボール探しの冒険。

引用 <https://www.amazon.co.jp/段ボールはたからもの-偶然のアップサイクル-島津・冬樹/dp/4760150730>

段ボールは世界を見、空気を吸い、わたしたちの元へやってくる。よく観察すると、



<https://www.amazon.co.jp/段ボールはたからもの-偶然のアップサイクル-島津・冬樹/dp/4760150730>



段ボール財布 (CARTON WALLET)

<http://carton-f.com/>

段ボール集めたい！ 外国の段ボールって可愛い・・・！



段ボールはたからもの P156

「不要な物から大切な物へ」をコンセプトに、2009年より路上や店先で放置されている段ボールから、財布を作るプロジェクト Carton をスタート。日本のみならず、世界30カ国を周り、段ボールを集めては財布を作ったり、コレクションしている。*

アップサイクルをしている人の本を探していた時に出会った一冊。段ボールがこんなに好きな人を初めて見た。最初は段ボールを集める？あつめてどうするの？と疑問だったが、異国の地の段ボールを集めることで思い出がよみがえることができると知った。段ボールが身近にありすぎてごみとして接してしまっていた。しかしこの本を読んだ、段ボールの認識が変わり、私も段ボールを集めたい、必要のない物が大切なものになる瞬間を見てみたいと思った。

※段ボールはたからもの P208より



<https://kaerudesign.net/about/>



「誰一人取り残さない」を実現するために

カエルデザイン with リハスはクリエイティブユニットのカエルデザインと、リハビリ型就労スペース「リハス」を利用する様々な障がいを持つ人たちがパートナーとなって、マイクロプラスチックなどの海洋プラスチックを回収し、アクセサリーに加工する、アップサイクルブランドです。

国連が SDGs で目標とする No one will be left behind. (誰一人取り残さない) を実現するために、カエルデザイン with リハスの商品は株式会社クリエイターズが運営するリハビリ型就労スペース「リハス」の障がいを持つ人たちが1つ1つ手作業で作られることで、障がいを持つ人たちの生きがいと経済的な自立につながります。

アップサイクルブランドを調べた時、実際に捨てられてしまうごみで物を制作しているブランドはないかと思い、カエルデザイン with リハスにたどり着いた。障害を持つ人たちは障害がない人たちと同じことができなかったり、同じ経験ができなかったりと社会との距離が空いているため、アクセサリーを作ることで社会の一部に自分がいると感じることができるといふことに、ブランドの作り方が工夫されている。

作り手側の、障害を持つ人たちは「生きがい」を、環境問題の海洋プラスチックは、アクセサリーを作り売ることによって生まれる「需要」を、私も意識して服を作りたいと思った。



<http://www.malion.jp/collection/2020aw/>

「MALION」 マリオン

ヨーロッパの女性名「MARIA」と「MARIO」とを掛け合わせた言葉
マスキュリン=メンズライク × フェミニン=レディライク。
Rightの「R」をあえてLeftの「L」に。

絶対的な方向ではなく、アイマイな、
それでいて特別な何かを求めて。

誰かが大切に着ていた古き良きものに新しい息吹を与え、
生まれ変わる、新しい服達

MALION
Vintage

ヴィンテージアイテムを買い付けし、それをリメイクする形で商品がデザインされているブランド。「アメリカやヨーロッパで古着を買い付け、熟練したテーラーの縫製工場を探したり、小物一つに至るまで作って何十年という唯一の職人さんに依頼したり、手間をかけることに糸目をつけない心意気が商品の付加価値を上げている」※
一点もの出来るだけ全力で可愛く、こだわっている様を見て、価値が上がるといふことを知り、手間をかけるということが愛着が湧くということに繋がるのではないかと思った。

※参考 <https://mi-mollet.com/articles/-/11717>



03

愛着

愛着

(あいじゃく、あいちやく)

自分に関係があるものに心がひかれること。
また、そういう気持。

私の愛着が湧いた服



2人=2人



2人=2人



上着のときのブラウス(リメイク)

3



LEFT ALONE SWEAT

1



HOWL BE QUIET



HOWL BE QUIET



上着のブラウス

4



STYLE NANDA SKI

2



KEY TALK

バンドTシャツ

並肩着



poppy dress

5

邦楽ロックのバンドが好きでよくライブに行き、バンドTシャツを記念に買い、それを着てライブに行くのが趣味で、自然とたくさん集まってくるものになっている。それぞれのバンドTシャツを見るとその時のライブが思い出され、思い出に浸ることができるため、愛着

バンドTシャツ

- 1 : LEFT ALONE のスウェット
- 2 : STYLE NANDA のズボン
- 3 : 高校の時のブラウス (リメイク)
- 4 : 古着のブラウス
- 5 : poppy のワンピース



自分の愛着を考えてみて

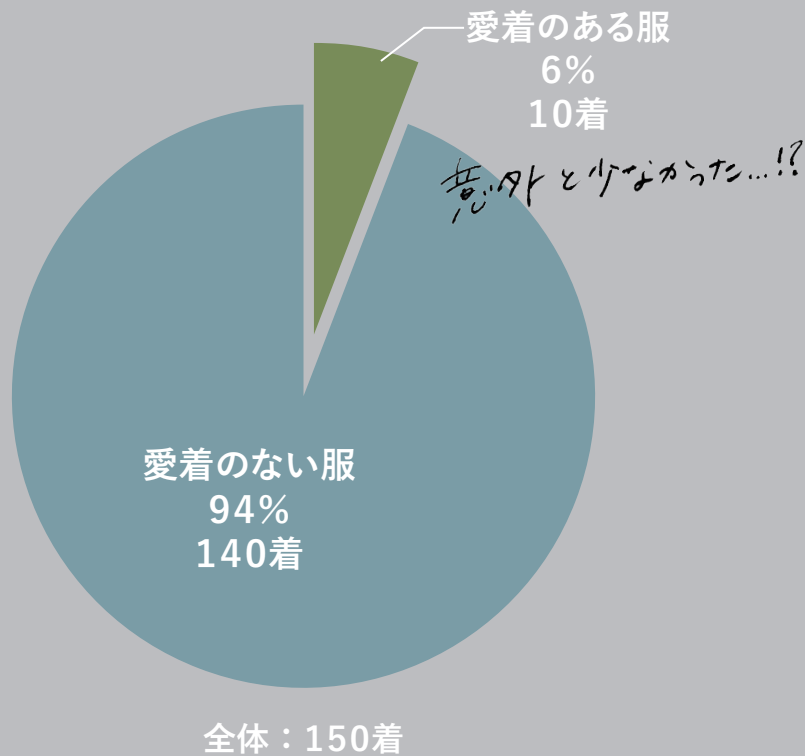
愛着のある服は何かと考え、どのようなものがあるかと探してみた時、意外にも愛着のあるものは少なく、安易に服を買い過ぎていてのではないかと考えた。愛着のあるものは、自分の好きなブランドや、憧れているブランドの服、思い出が強い服、値段が高い服が多かった。逆に愛着がわからない服は買っただけ何か合わせやすいだろうと思って買った服、とりあえずで買った服、値段が安い服が多く、そのほとんどがユニクロやGUなどといったファストファッションが多かった。

愛着の湧く物

思い出のある服

好きという思いが強い服

値段が高い服



11/13 調べ

自分で作った服=その時の思い出ができる

高校の時に着ていた制服のブラウスをリメイクした時に初めて服を作るという行為をしたからか、その時作りながら出来上りを楽しみにしていた感情や難しいという感情が思い出され、自分で服を作るという行為をすれば愛着がわくのでは・・・ということ

とりあえず服作ったらろ~~~~~!



04 制作

愛着を見出すために作った服

研究の変化

出たごみでの服作り

ハサミを禁止した服作り

愛着を見出すために作った服

服を布から作ったことのない私が挑戦するには難しすぎた案件。



パターン：MAGALLI ノスタルジックなワードローブ
割とまっすぐ縫うだけで最初は簡単！と思いがったが、ボタンホールと苦手の袖に苦戦した。生地も伸縮性のある生地でパターンを写す時すごく苦労した。襟と袖を縫うのが難しく、またまた初心者が作ってみるものではないな…と感じた。

パターン：でいあこす フリルブラウス
<http://dr-cos.com/wp-ruffleblouse.html>
説明を読みながら作っていたが、文だけでは理解できず、あまり納得のいく仕上がりにはならなかった。襟の部分が難しかった。しかし一から服を作ったという達成感や失敗した時になんども縫い直した思い出などが蘇り、私にとって愛着のわく服になった。初めて服作りを経験して形は歪だが、自分好みのブラウスができた。

※ボタンホール
ボタンを通す穴

研究の変化

服を作ってみて・・・

自分で作ったということや何度も縫い直したという思い出が生み出され、自分にとって愛着のわく服となった。結果的に愛着はわき、良い結果となったが、ごみのことを考えた時、ごみになってしまう捨てられてしまう生地を使っているのに結局ごみが出るのは意味がないと思った。そこで愛着を考えるより、ゴミについてを考える方がいいのではないかと考えた。

愛着を持たせる研究



ごみを無くす研究

ごみを無くすには・・・

ごみを無くすためには、ごみで何か作ればいいのかと思った。生活造形の授業ではいらなくなった靴下でソックアニマルを作ったり、^{※1}一年間授業で出たごみで作品を作ったりとごみが必要のないものから必要のあるものへアップサイクルするということを行った。その要領でごみが必要のあるものつまりは価値のあるものにできるのではないかと思った。

※1ソックアニマル

靴下で作った動物の人形のこと

※2 授業で出たごみで作品を作る

残り物課題

授業で作ったもの



残り物課題

ソックアニマル



ごみの定義

ブリタニカ国際大百科事典
小項目事典の解説

一般には生活に伴って発生する不要物のことをいう。

ごみの定義は社会通念の違いで大きく変化する。かつてごみは無価値なものと認識されていたが、今日ではまだ使えるものが廃棄されたり、廃棄されたものが資源として再利用されるようになっており、その価値にかかわらず所有する意志を放棄したものがごみであると考えられている。

※引用

<https://kotobank.jp/word/%E3%81%B1%E3%81%84>

み -168353

出たごみでの服作り

捨てられてしまう生地で作る服、更にそのごみで作る服



パッチワークのように布同士をつなぎ合わせ、型紙や自分の思い通りの形に切って、一枚の布として服を制作した。



着用画像



ハギレバケットハット

服を作って出たごみの生地



着用画像



ヘッドドレス風ハチマキ

開催された〜メイドインデザイン〜での写真

次にバケットハットが欲しくて作った。型紙に合わせて合うパーツを探し、つなぎ合わせて作った。つばが狭いバケットハットが欲しかったため、型紙よりつばを短めにしたら、変な形になり修正するにも不可能な感じになってしまい、感覚でやるものではないな...と実感した。

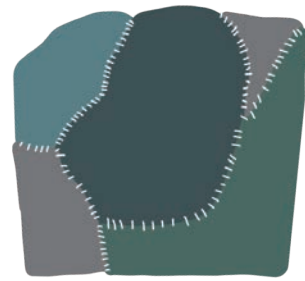
思ったこと

清水さんの研究（居ル場夢）で企画された運動会（〜メイドインデザイン〜）のために作ったヘッドドレス風ハチマキ。運動会といたらハチマキだと思いき、ただのハチマキではつまらないと思ったため、メイドさんがつけるようなヘッドドレス風にした。

ごみ出る、悪循環すぎ!!!!



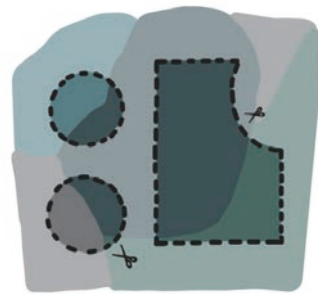
服を作った時に出たごみ



縫い合わせる



必要のない部分が残る



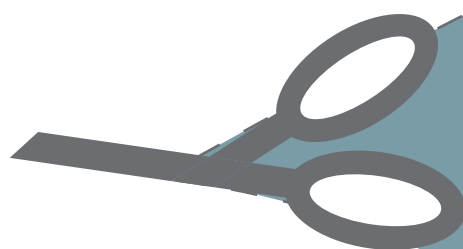
型紙の形、好きな形に切る



気づいたこと
パッチワークのように
布同士を縫い合わせて
好きな形や型紙の形に
切ってしまうとごみが更
に出てしまうことに気づ
き、完全に無くすため
にはハサミを使わないパ
ターンの形にとらわれな
いということを意識して
作るべきだと思った。

ハサミ禁止！

切るのやめてみる・・・？



ハサミを禁止した服作り

四角形作りやす・・・

服の形を最初に決めてしまおうとその形にとらわれてハサミを入れてしまおうような気がしたため、服の形を決めず「とりあえず」で布を縫い合わせていった。そのやり方で最終的に出来上がった形がカーディガンだった。ごみの中でも厳選し布を選んだ。厳選した物の多くは四角形の形のものばかりだった。四角形だと角と角が合わせやすく縫い合わせるのに最適だった。そこで四角形が縫いやすいということに気づいた。



tsunagari カーディガン

服を作って出たごみ



前



後

05



共同企画

芋掘りの準備
もんぺ作り
芋掘り大会

仁短ファームで育てている
芋を掘るために自分が何が
できるか課題が課せられた

芋のロゴデザイン：伊藤さん

芋掘りの準備



私、芋になりたい!!

ゼミのみんなで共同企画をするため、ゼミの先生が育てている芋を掘ることになった。自分達がその芋掘りで何ができるか話し合いをした。

芋掘りといったら畑＝農家！という事でテーマが決まりどういった農家にするか話し合いをした。「田舎娘みたいな格好がしたい!」「どうせならガチでやろう!」「もんぺはきたい!」「芋になりたい!」など意見は多数出て、役割が決まった。

役割

Megu:Re	伊藤さん
GRAFFITO	近藤さん
居ル場夢	清水さん
Qyuu.com	野路さん



芋掘りTシャツ
芋っぽいタトゥーシールを作る
思い出を増福させる
芋掘りをしつつ Qyuu のお世話もする

私の役割

もんぺを作る



参考画像



<https://www.furusato-web.jp/iju/hokkaido-shimokawa/>



<https://gnc-nouen.chimenotane.com/archives/48698450.html>

もんぺ作り

必死の二日間、無理だ、間に合わな〜い！！！！

実施日が話し合いの翌週に決まり、一週間でもんぺをゼミの学生5人、ゼミの先生、教務員さんの計7着作ることになりました。
ゼミの先生に採寸の参考にもんぺを貸してもらい、それを型紙に合わせてみるとSサイズだったため、Sサイズで作り進めていった。しかし、一着でき試着してみると丈が短い……。そこからサイズを改めMサイズで作り進めていった。徹夜の作業でヘトヘトだったが、なんとかできた。

7着のもんぺ



できあがったもの



ポケット

ポケット

芋掘り大会

よーし、芋掘るぞ！



清水さんが合成した写真

芋掘りをして・・・

芋掘り大会ではうまく農家になれるか不安だったが、私が作ったもんぺ、伊藤さんが作った芋丁シャツ、近藤さんが作ったタトゥーシールで農家の娘っぽく、芋っぽくなれた。ゼミの皆がモンペいい感じ！、持って帰りたい！と褒めていてうれしかった。

提案したのはゼミの先生だが、一人一人の役割をしっかりともち、協力できたということ、自分が作った服を着てひとつのイベントをやり遂げたことが今回の一番の思い出となった。

もんぺ着てもらった！



近藤 さん

伊藤 さん

自分

野路 さん

清水 さん

06

couturubbish

ごみをゴミとしない服作り

あっ、このパーツ使えそう・・・！

tsunagari カーディガンを作り、ハサミを使わず服が作れることがわかった。そこで繋げるだけではなく他に技法を加えて服を作ってみるとどうなるか考えた。^{*} 柔らかい雰囲気になるギャザーを寄せて服を作った。ギャザーを用いたのはごみの集まりで出来ていることを伝えたかったからだ。

tsunagari カーディガンは繋げただけのため、平面感が強いが、一つでも技法を加えることにより立体感が出て、着やすくなった。

※ギャザー

ギャザーとは布を縫い縮めたひだのこと。またひだを寄せる技法のこと。柔らかい雰囲気を出すことができ、妊婦服やウエスト、袖口などに多く用いられる

出典 <https://www.fashion-press.net/words/707>



atsumari トップス



前



後

進歩したかな・・・!?

「愛着を見出すために作った服」を作った時は一から服を作ったことなく縫い方が下手だったり、「まあいいか」という気持ちで服を作っていたため雑な仕上がりになっていた。しかし一年間自分なりに服を作ってみて、最初の自分より進歩したのではないかと思っただ。そこで「愛着を見出すために作った服」の様に型紙を使って服を作った。この二着の服を作っている時、綺麗にギャザーを寄せるコツなども分かってきて一工程ごとに丁寧に作業するようになっていくことがわかった。



卒展ポスターでも使ったよ!

パターン：「テネの服暮らし」
パフスリーブティアードワンピース
<https://youtu.be/OTnkS6Buxvl>



パターン：「テネの服暮らし」
ティアードスカート
<https://youtu.be/xSRFHxwX580>



着用画像

ゴミの形をみてみると、細長いものが多かった。どう活用していいかが分からず放置していた。何かに使えないかと考えた時、フリルを作れば問題が解決することになり、気がつき、ラブリーな雰囲気になるため一石二鳥だと思った。もくもくとフリルをつくっている時につけ襟を作りたいと思い、つけ襟を作成した。

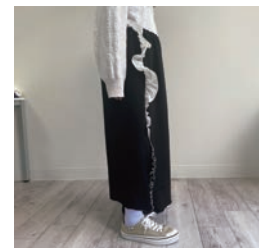
big frill ツケエリ



mellow パンツ



モンペを作った時にでたごみでサイズが大きくてもつたいないものがありそれらでパンツを作った。サイドにフリルをつけ可愛さを増し増しにした。ハサミを使わないため、フリルの大きさや長さがバラバラだが、そこがこのパンツの可愛いポイントである



着用画像

無意識に今まで作った服に

愛着

がわいていた!!!



愛着も同時に見出せる！

一度ゴミを減らすことだけにし、考えず放置していた愛着。失敗した成功したに関わらず“自分が作った”ことで最終的に一着一着に愛着がわいていることに気づく。今まではお金を払って買った服に愛着がわいていたが、自分で服を作り、手をかけたことで生みの親のような気持ちになった。そのことから愛着を見出すことを無意識にしていたことに気づく。よって、この研究をしたからこそ私にしかできない『couturrubbish』ができたと考えた。

couturrubbishの話

ただのゴミでしかなかったパーツを、時間をかけたリ工夫をすることで“愛着のわくもの”に変えられるようになった。つまりごみから愛着を見出したのだ。その気づきからフランス語とイギリス英語を組み合わせで作ったタイトル、『couturrubbish』の意味が深まった。フランス語とイギリス英語というバラバラな言語を組み合わせることで、「ごみを減らすこと」と「愛着を見出すこと」、この両極端なことを同時にできることに繋がる。

さい
い
づ
に

07



結果

服作りをしていく中で服を着ているだけの消費者側の頃より服に対しての考え方が変わった。例えば企業ではごみとは言っているものの一個人では使えるようなものだったこと。ごみで服を作っても愛着がわくこと。ハサミを使わないことで服作りに可能性を感じ、作ったことのないような服が作れたこと。それらは作り手になって見なければわからないことだった。私は服を消耗品としていた。作り手のかけた時間やアイデアを出す苦労を知らなかったからだ。流行を取り入れた安価なファストファッションに呑み込まれていた。「捨てる」選択肢が簡単にできるようになってしまい、物を大切にしなくなった。服を作ることで服を作った時にかけた時間や思い、工夫が一着一着によって持つことが出来ることを知った。それは生地が買ったものであれ捨てるものであれ同じことだった。よって見方次第でごみではなくなるのがわかり、「どう使うか」を考えることが大切だと気づいた。ごみをゴミとせず作った服を同じように良いなと思ってくれる人がいることがあれば、この研究は成功したと言えるだろう。

考察

研究を通してごみをゴミとしているのは自分だと気づき、作り手の立場になったことでごみをほっとはいけないうことがわかった。

春からは繊維会社で働き、作り手の立場になる。デザインを考えることが仕事になり、ごみを見る機会も多くなって、自らごみを作ってしまうこともあるだろう。しかしそれをどう使うかが大事だと考える。私にとっては一生の課題になりそうだが、考える楽しさをこの研究を通して学んだ。「捨てる」選択肢を簡単にしていた私だが、そこに「考える」がプラスされ、「捨てない」に変わることができると考える。捨てるだけの存在だったものが自分の好きな物に変換できる存在になったことで愛が生まれる。それを実践することで少しずつでもごみが減っていくと考える。

この1年間の研究を通して服を大切にし、ごみはゴミとせず解決策を考え、価値のあるものに変えられるということを他の面でも活用していきたい。ごみとは一生付き合っていけない問題であり、なくなることはないだろう。しかし必要のない物を溜めていくのとごみでも好きな物を溜めていくのでは好きなものを溜めた方が人生が楽しくなると考える。

何気ない「服が好き」という言葉。それからこんなに考えさせられるとは正直思っていなかった。それでも服が好きだからこそやってこれた研究でもあり、自分の役に立った。ごみをゴミとしない、そんな服を作り続けていきたい。



おまけ

卒展ポスターの話



Meguri.Re の伊藤さん、居ル場夢の清水さん、Oyuu.com の野路さんと私の四人で卒業研究制作展をすることになり、テーマが「Thanks bite!」に決まった。サンクスバイトとは、結婚披露宴で新郎新婦がお世話になった人にウエディングケーキを、感謝の気持ちを込めて「あーん」と食べさせてあげるセレモニーだ。

結婚披露宴にするセレモニーということで、ウエディングドレスの様な白い服を使う。ちょうどポスターを制作する前に白いワンピースが出来上がっていた。34ページでも紹介したワンピースを使用した。

Thanks bite

4
Nomas 28 の卒業研究制作展



2021 2.13 sat. 18 thu.
開館時間 am9:00 pm5:00

会 仁愛女子短期大学
場 エントランス・アトリエ・陶芸館

2021 卒業研究制作展
Graduation Works Exhibition



仁愛女子短期大学
Jin'ai Womens College

参考文献

莊村恵理子『MAGALIのノスタルジックなワードローブ』
文化出版局 (2020/06 発行)



水野佳子『きれいに縫うためのパターン・裁断・縫い方の基礎の基礎』文化出版局 (2019/03 発行)



泉谷恭子『自由に遊ぶ、ヴィンテージライクな服』文化学園文化出版社 (2019/05 発行)



島津冬樹『段ボールはたからもの 偶然のアップサイクル』柏書房 (2018/12 発行)



参考 URL

大量の水の使用、そして 85% はゴミに…ファッション業界は環境に大きな影響を与えている
<https://www.businessinsider.jp/post-200862>(2020/11/25)

ファッションと環境問題
<https://www.fashionrevolution.org/japan-blog/environmental-effects-of-fashion/>
(2020/10/20)

MALION VINTAGE 公式 HP
<https://malion.shop-pro.jp/?mode=f1>(2020/12/14)

カエルデザイン with リハス公式 HP
<https://kaerudesign.net>
(2020/12/14)

参考映像

岡島龍介 (2018)『旅するダンボール』ピクチャーズデパート

スペシャルサンクス

株式会社吉田テキスタイル

卒業研究指導教員

前田博子先生

前田ゼミのみなさま

伊藤萌さん

近藤菜海さん

清水愛乃さん

野路千菜さん

